

ライオン通信

<URL> <http://www.kooge.jp/> <e-mail> info@kooge.jp

Vol.42 平成19年6月10日発行 (月刊誌)

郡家コンクリート工業株式会社
〒680-0427 鳥取県八頭郡八頭町奥谷 206-1
TEL(0858)72-1154 FAX(0858)72-1614

Gブロックから『Rブロック』へ名称変更

鳥取県コンクリート製品協同組合は、長年みなさんにPRしてきた『Gブロック』を5月1日付けで『Rブロック』に名称変更しました。

『Gブロック』はそれまで埋立て処分されていた廃ガラスを、細骨材の一部として使用したコンクリート二次製品で2001年から製造してきました。鳥取県からはすぐに『鳥取県リサイクル製品使用基準 A区分』に指定していただき、県発注の公共工事では優先使用していただけてきました。

今回の名称変更の理由は2001年以降、米子市や西部広域で溶融スラグが排出されるようになり、そのリサイクルにコンクリート製品協同組合も試行錯誤しながら取り組んできましたし、岩美町内にある旧岩美鉱山坑廃水処理事業の産物でもあるナスサンド(注1)についてもリサイクルの必要性を強く感じ、各種試験等を行なってきましたが、それらがやっと実用化の道筋が見えてきたため、ガラスだけを示す『G』から幅広くリサイクルを目指すためリサイクルの『R』へと変更しました。

『Rブロック』はもちろん『鳥取県リサイクル製品使用基準 A区分』ですので鳥取県発注工事では優先使用していただけていますが、リサイクルの趣旨ご理解の上、国や県内市町村発注の工事でも優先使用していただけますようお願いいたします。

今後、環境問題について今まで以上に国民ひとり一人の意識改革とそれを実現する行動が求められます。リサイクルの推進は不可欠です。循環型社会の構築は国を挙げての政策ですが、まずは個人・家庭から、そして地域から広げていかななくてはなりません。

私たち鳥取県コンクリート製品協同組合は、『県内のゴミは県内でリサイクル』を合言葉に、更なるリサイクルを通じて地元のお役に立つようがんばって行きますので、今後ともご理解ご支援いただきますようお願いいたします。

注1) ナスサンドとは
ナスサンドとは株式会社 YAKIN 大江山(京都府宮津市)に於いて、フェロニッケル粒鉄を製造する際に発生するスラグを粒度調整したものです。その工程の中で旧岩美鉱山の廃水から発生する銅、鉄をはじめ重金属を含有した澱物を焼却処分してもらっています。ナスサンドに占めるその割合は大きくありませんが、本県にとって将来にわたり安定的な処分確保のため、ナスサンドの利用に積極的に取り組まなければなりません。



鳥取県リサイクル製品使用基準 A区分適合品

リサイクル Rブロック

私たちはふるさとの自然環境を大切に考えています。

地元の廃ガラスを地元でリサイクル

コンクリート二次製品が舞士への新しい使命を果たします。

鳥取県で排出された廃ガラスで自分たちの町を美しくするために再利用する。今まで埋め立てという“自然破壊”を繰り返していた廃ガラスをリサイクルする事で地域の“誇り”に変える。まさに全国から注目される製品です。

鳥取県コンクリート製品協同組合の全工場で生産している製品は、すべて『Rブロック』です。

『循環型まちづくり』

当組合では『Rブロック』として、廃ガラスの他、県内排出の溶融スラグ・ナスサンド等を有効活用したコンクリート製品の研究開発にも取り組んでいます。

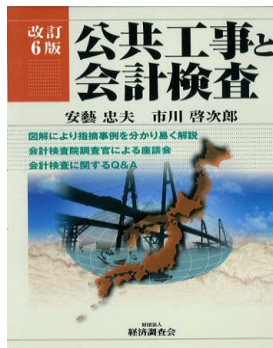
TOPCO 鳥取県コンクリート製品協同組合

株式会社 郡家コンクリート工業	TEL(0858)72-1154
東洋建設	TEL(0859)68-3131
日本ハイコン	TEL(0857)29-0561
阪神工業	TEL(0857)24-1840
株式会社 和光産業	TEL(0859)53-4511
和光産業	TEL(0858)36-2255

よろしく



お願いします



会計検査Q & A

今月も、『公共工事と会計検査』の安藝忠夫氏からいただいた会計検査報告から、「会計検査Q & A」をご紹介します。みなさまのご参考になれば幸いです。

今月の質問： 前年の検査でパスしたのに？

下水道の仕事に携わっているが、当県は毎年会計検査を受けている。そして、必ず2年分が検査対象となるため、前年に検査を受けた工事についても書類を倉庫にしまうことができない。前年に検査を受けて問題なしとパスした工事については、翌年の検査対象から除外してもらっても良いのではないかな？



回 答

会計検査院では限られた人員で検査をしていますので、検査各課で検査対象団体の事業量等を勘案しながら毎年の検査箇所を決定しています。補助事業の検査の場合、道路、河川関係などは、おおむね1年おきに検査を実施し、その際2ヵ年分を検査するというパターンが多いのですが、事業によっては、各府県で事業量に相当な差があります。例えば、下水道を含む国交省都市地域局関係の事業は、大都市部での事業が多いこともあり、いくつかの府県については、毎年検査を実施していますが、検査時期は年により区々です。

こうした背景もあり、「検査の空白期間」を生じないよう2ヵ年分を検査対象とするやり方が続いているのだと思います。

府県によっては、前年検査を受けた工事については、検査調書の備考欄に「検査済」などの印を付けているところもありますが、その印があっても、調査官によっては検査対象に選定することはよくあります。

その年により、また調査官によっては重点的に検査する箇所がかなり違うということがあります。

また、前回の会計検査で特に指摘がなかったからといって、調査官が検査したのは、工事の設計から施工まですべてとは限らず、工事のごく一部分であることもありますので、工事全体が合格と判定されたと言うとらえ方は適当ではないと思います。

レオちゃんの製品紹介コーナー

こおげーウォール
◆◆◆◆ L型擁壁 KOOGE-WALL ◆◆◆◆

こんにちは。ライオン通信のレオちゃんです。今月は、L型擁壁『KOUGE-WALL』をご紹介します。本誌では およそ3年ぶりのご紹介です。

KOUGE-WALLは平成11年に高知の右城猛博士に依頼して設計してもらったオリジナルのL型擁壁です。L型はみなさんご存知だと思いますが、KOUGE-WALL独自の特徴をおさらいしていきます。

堆積の様子と私都工場

経済性

NO.1

KOUGE-WALL



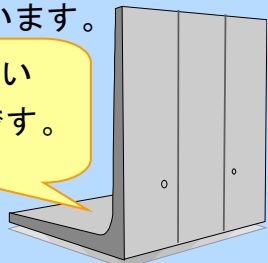
特長

特徴を8つあげてみました

1. 高強度コンクリート($\sigma_{ck}=30\text{kN/mm}^2$)を用い、部材を薄くすることで軽量化を図っています。経済性・施工性に優れています。

施工し易い
L型擁壁です。

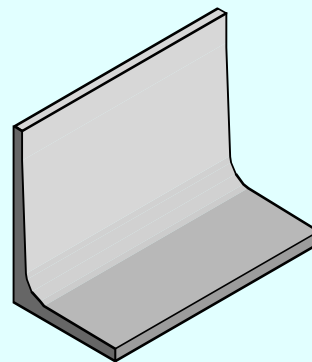
サイズ H500~H3000



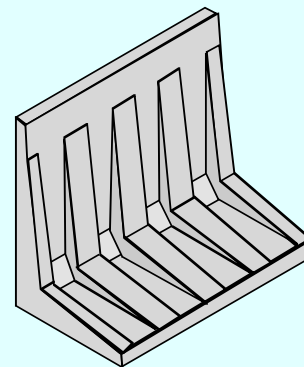
2. 支持地盤が粘性土でも適用が可能です。

3. 改良試行くさび法の設計なので底版幅が従来の製品に比べて8~20%小さく、基礎工や床掘りの規模が軽減されます。



4. リブ構造でないので任意の幅(L寸法)や斜切製品が製造可能です。裏面の転圧もしやすくなっています。



▲当社製品




他社製品▲
他社はリブ構造になっています


シ **オ** ちゃんの製品紹介コーナー 

5. 道路土工 - 擁壁工指針に適合しています。


6. 現場打ち部分には仕上がりと同じ表面模様になる発泡スチロール製の型枠材があります。

仕上がり
きれいです！



表面拡大イメージ

7. 現場土質設計条件により寸法変更できます。

 底版寸法長くも出来ます。
お問い合わせください！

8. コーナー対応の製品もあります。
コーナー製品は他社のような一体物でないで、ご要望の角度に対応できます。




◆ 製品に関するお問い合わせ☆資料請求は
直通電話:0858-73-0500 までお気軽にどうぞ！
FAX : 0858-73-0535 E-mail : info@kooge.jp



◆ ◆ ◆ 編集後記 ◆ ◆ ◆

トップページの中で旧岩美鉱山に少し触れましたが、初めて現場に行ってビックリしました。榎本岩美町長に話をお聞きしに行ったのですが、町長自ら現場に連れて行ってくださり、坑道の中まで案内していただきました。

その歴史は日本書記にも記述があり、戦前まで銅の採取が行なわれていて坑道の総延長は 29km にもなるそうです。(一部しか見ていませんが島根県太田市の石見銀山のようでした)

廃水が強酸性のため pH 調整をして排出していますが、廃水中の沈殿物(澱物)が重金属などを含んでいるため、リサイクルを県外に委託しているのです。

このリサイクルの流れを長期的に安定させるためにも、『ナスサンド』を積極的に使うことが大切だと思いますし、製品としての『ナスサンド』はコンクリート用骨材として良質なものですので、天然砂の枯渇が叫ばれる中、今後重要度は増すばかりだと思います。(山根)

